



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社いつも

コード番号 7694

URL <https://itsumo365.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂本 守

問合せ先責任者(役職名) コーポレート本部
グループリーダー

(氏名) 石綿 誠 (TEL) 03-4580-1365

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (オンライン開催)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	13,022	27.5	270	120.3	125	—	112	—	△7	—
2025年3月期第3四半期	10,214	1.2	122	△65.0	△9	—	△32	—	△72	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △7百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △72百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△1.19	—
2025年3月期第3四半期	△12.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

※調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用+M&Aにかかる取得費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,448	2,370	22.6
2025年3月期	8,609	2,363	27.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,362百万円 2025年3月期 2,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,044	22.3	420	64.2	254	242.4	225	418.9	152	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用+M&Aにかかる取得費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	5,953,158株	2025年3月期	5,937,952株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	8,471株	2025年3月期	8,433株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	5,936,336株	2025年3月期3Q	5,900,328株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により穏やかな回復基調が続いている一方で、継続的な原材料価格の高止まり、物価上昇、地政学リスク等の影響により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、株式会社富士経済が公表した「通販・eコマースビジネスの実態と今後2025」によれば、2024年のEC(物販)市場規模が14.6兆円であったことに対し、2025年の見込みは15.1兆円、2026年は15.4兆円と、着実に成長を続けていくことが予想されております。このため、今後も各ブランド・メーカーが継続的にECビジネス展開に注力していくことが予測され、当社グループにとって事業拡大を見込める良好な環境であると捉えております。一方、多くのブランド・メーカーは、近年のマーケティングの高度化・複雑化や他社との競争激化により「データドリブンな投資判断」、「施策の精度と実行スピード」など一層高いレベルでの戦略戦術が必要とされるほか、生成AI導入などによる事業成果と業務効率化を同時に実現するビジネスモデルの変革にどのように取り組んでいくか等、EC事業拡大においての課題に直面しております。

このような経営環境の中、当社グループは「eコマースで、日本の未来をリードする」を新しいミッションとして掲げ、ブランド・メーカーへのEC事業総合支援・D2C及びECプラットフォーム運営を展開してまいりました。特に、今後の新たな成長事業として期待されるソーシャルコマース領域への対応を最重要課題の一つと捉え、体制構築とサービス展開を本格化させております。具体的には、「TikTok Shop」の3つ全ての公式パートナー認定を取得し、広告運用から店舗構築、フルフィルメント、ライブコマース支援までを一気通貫で提供できる体制を迅速に整備いたしました。また、クリエイター支援にも注力し、日本でもトップクラスのクリエイターとの連携体制を強化しております。当第3四半期においては、これらの体制構築とサービス開発にかかる費用を戦略的な先行投資として継続しており、同領域における競争優位性を高めてまいります。

Oneコマースサービスにおいては、イベントや年末商戦等で堅調に推移し、「データ×テクノロジー×メソッド」を掛け合わせた仕組みの活用により生産性が向上したこともあり前年同期比で増収、売上高は2,418,720千円となりました。

協業ブランドパートナーサービスにおいては、当期ローンチした複数ブランドが大幅に伸長し前年同期比で増収となり、売上高は9,627,339千円となりました。

共創・自創バリューアップサービスにおいては、独占販売権を有するコスメブランドが計画通り進捗した一方、スノーアパレルを主力として販売する連結子会社は競合や天候の影響等で減収減益となり831,394千円となりました。

ECプラットフォームサービスにおいては、ライブコマースのプラットフォームである「Peace you LIVE」における手数料収入が前期比で増加し、145,212千円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,022,667千円(前年同期比27.5%増)、営業利益は125,629千円(前年同期は営業損失9,541千円)、経常利益は112,102千円(前年同期は経常損失32,440千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,052千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失72,084千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、10,448,635千円(前連結会計年度末比1,839,097千円増加)となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,755,796千円減少した一方、売掛金が2,148,037千円、商品が1,105,503千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、8,077,701千円(前連結会計年度末比1,831,235千円増加)となりました。その主な要因は、長期借入金が174,632千円、1年内返済予定の長期借入金が63,736千円減少した一方、未払金が1,090,368千円、買掛金が559,858千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,370,934千円(前連結会計年度末比7,862千円増加)となりました。その主な要因は、新株予約権が6,162千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ前回発表時の予算を修正いたしました。詳細は、2026年2月13日公表の「2026年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,932,258	1,176,461
売掛金	1,598,749	3,746,786
商品	1,976,647	3,082,151
仕掛品	1,279	1,410
その他	252,458	492,241
貸倒引当金	△30,183	△11,985
流動資産合計	6,731,209	8,487,067
固定資産		
有形固定資産	229,723	189,629
無形固定資産		
のれん	268,811	227,099
その他	298,655	375,141
無形固定資産合計	567,466	602,240
投資その他の資産		
その他	1,081,139	1,169,697
投資その他の資産合計	1,081,139	1,169,697
固定資産合計	1,878,328	1,961,568
資産合計	8,609,538	10,448,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,369,091	1,928,950
短期借入金	700,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,159,356	1,095,620
未払金	142,908	1,233,276
未払法人税等	18,639	167,682
賞与引当金	60,754	27,320
その他	388,897	392,410
流動負債合計	3,839,647	5,845,260
固定負債		
長期借入金	2,261,010	2,086,378
資産除去債務	145,807	146,062
固定負債合計	2,406,817	2,232,440
負債合計	6,246,465	8,077,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	754,096	758,484
資本剰余金	742,596	746,984
利益剰余金	863,872	856,820
自己株式	△126	△150
株主資本合計	2,360,439	2,362,138
新株予約権	2,633	8,796
純資産合計	2,363,072	2,370,934
負債純資産合計	8,609,538	10,448,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,214,685	13,022,667
売上原価	6,386,697	8,192,137
売上総利益	3,827,987	4,830,529
販売費及び一般管理費	3,837,528	4,704,899
営業利益又は営業損失(△)	△9,541	125,629
営業外収益		
受取利息	330	2,945
助成金収入	2,362	—
雑収入	3,793	10,395
その他	0	1,048
営業外収益合計	6,487	14,389
営業外費用		
支払利息	15,170	25,599
支払手数料	12,745	735
その他	1,469	1,581
営業外費用合計	29,386	27,916
経常利益又は経常損失(△)	△32,440	112,102
特別利益		
固定資産売却益	—	750
事業譲渡益	—	7,060
その他	—	123
特別利益合計	—	7,934
特別損失		
子会社清算損	49	—
事業撤退損	9,035	—
特別損失合計	9,084	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41,524	120,036
法人税等	30,559	127,089
四半期純損失(△)	△72,084	△7,052
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,084	△7,052

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△72,084	△7,052
四半期包括利益	△72,084	△7,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,084	△7,052

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「売上原価」として計上していた費用の一部を「販売費及び一般管理費」として計上しております。

当該変更は、直近における取扱いブランドの多様化及び新規ビジネスの開始並びに当連結会計年度に実施した組織体制の変更とそれに伴うサービス内容の検討の結果、同業他社との比較可能性を高めるために行ったものです。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に表示していた1,654,743千円を「販売費及び一般管理費」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ECワンプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	79,641千円	90,515千円
のれん償却額	47,088千円	41,712千円